



6 外部アンケート調査（12月）

外部アンケートで 学校の実態を知ろう

学校自己評価を行う上で、児童生徒・保護者や地域住民から寄せられた具体的な意見や要望（外部アンケート等）の結果を活用します。つまり、外部アンケートは、児童生徒の実態、保護者や地域住民の意見や要望を知るための一つの資料です。

評価項目は、年度初め（4月）にお知らせしておきましょう

そうすれば、普段から視点を持って、授業参観や学校行事に参加していただけます。

P14参照

何のために 何を知りたいのかで アンケート項目が決まる

- (1) 重点目標や評価項目等との関連を図りつつ、アンケート項目を設定します。
- (2) 外部アンケートでは、何のために、何の実態を把握したいのかを明確にし、アンケート項目を設定します。
資料P46～P52
- (3) 尺度の設定仕方で、結果が大きく変わってきます。尺度の設定も検討します。
- (4) 単に集計を数値だけ公表するのではなく、前年度との比較や、結果から読みとれることを学校の考えとして示す工夫をします。
- (5) メッセージの伝わりやすさを考え、グラフ作成も色やサンプル数を示すなど工夫します。

回答しやすいアンケートにするために

アンケートの信頼度を高めるためには、匿名性について配慮をすることも必要です。

事例1 匿名性の担保を厳格に行う。

- 無記名
- 筆跡が分からないように選択式のみで構成したアンケートを作成
- 調査票はのり付け、封入
- 担任を通さず回収

事例2 無記名を原則とし匿名性を担保し、選択的に記名することにより個別の記述内容への対応が可能になる。

- 基本的には無記名
- 学校からの個別の返答を求めるときには記名で提出

(文部科学省初等中等教育局学校評価室)



1 昨年度の反省

外部アンケートの項目は、学校自己評価の資料としてとても重要です。十分検討しましょう。

昨年度、学校関係者評価を行った際、評価委員から「いろいろなことに取り組んでいるのは分かるが、評価はしづらい。もっとポイントを絞ってできないのか。」という意見をいただきました。また、外部アンケートをお願いした保護者からは、「アンケートの項目が多すぎる。」「表現が曖昧で評価がしづらい。」といった意見もいただきました。

振り返って反省すると、まず評価項目があれもこれもと総花的になってしまっていました。それに伴ってアンケートを作成していたため、アンケートの項目数が多く、また目標設定が曖昧であったため、アンケートの表現にも曖昧さが残っていました。

2 本年度の改善

そこで、本年度は評価項目の重点化から取り組みました。本年度のキーワード(朝・昼・夕)を中心に評価項目を絞り、学校としての本年度の重点課題を明確にしました。次に、外部アンケートを次のように見直しました。6月に中間アンケートを行いました。

- 1 評価項目に沿ったアンケートにした。
- 2 「私は、〇〇している。」「私の子どもは、〇〇している。」のように保護者自身、または生徒自身の行動について質問した。

これにより、「分からない」「評価しづらい」という声がなくなりました。また、同時に職員に対するアンケートも、朝・昼・夕の重点取り組みに対して、自分がどれくらい取り組んでいるのかを確認する内容にし、中間アンケートを行いました。このことで、職員個々のPDCAサイクルが機能しやすくなりました。

3 SQSの導入

アンケートの結果をより早く集計し次の活動に活かすために、アンケートをマークシートで集計しパソコンで処理をするようにしました。これには「Shared Questionnaire System 開発プロジェクト」により公開されているシステムを利用しました。アンケート用紙をマークシートで作成し、ドキュメントスキャナーで読み取り集計できるようになったため、集計作業の時間が劇的に短く、手間がかからなくなりました。約400人分の集計がおおよそ5分程度で終了します。



ドキュメントスキャナー

資料 P51,P52

4 アンケート結果のフィードバック

アンケートの結果も使用して中間自己評価を行い、7月に学校関係者評価を行いました。その結果問題となった部分は、改善策を考え、学校だより等でその対策については公表する予定です。アンケートを効果的に活用し、学校評価をよりスムーズに行い、教育活動の改善につながっています。

(1) お子様の学年は？(複数回答可)

1: 第1学年 2: 第2学年

これから学校教育に関するいくつかの質問をします。答

(2) 私は、今年度の学校経営の基本理念が「やりたいことある」ということを知っている。

1: 当てはまらない 2: やや、当てはまらない 3: 当てはまる

(3) 私は、今年度の生活キーワードが「朝(挨拶・朝礼)・昼(掃除)・夕(帰りの挨拶)」と知っている。

1: 当てはまらない 2: やや、当てはまらない 3: 当てはまる

(4) 私は、岡野中学校が毎朝朝礼をしているということを知っている。

1: 当てはまらない 2: やや、当てはまらない 3: 当てはまる

(5) 私の子どもは、家で挨拶をしている。

1: 当てはまらない 2: やや、当てはまらない 3: 当てはまる

(6) 教職員に子どもの事での悩みを相談できる。

1: 当てはまらない 2: やや、当てはまらない 3: 当てはまる

(7) 保護者アンケート